

MonthlyTimes (H28.7月号)

☆創造・自律・共生☆

★有田中央高等学校★

野球部、健闘及ばず、三回戦敗退!

16日(土)、全国高校野球選手権和歌山大会2回戦で、県立和歌山商業高校と対戦し、終盤にたたみかけ4-2で逆転勝利しました。強豪の県和商に対し、先発の仲竜輝君(2年)は県内公式試合の完投では歴代最少投球数となる74球の新記録を達成しました。この日の序盤はスライダーを中心に打たせて取る投球で、六回まで県和商を散發3安打に抑え、打線につかまり始めてからは直球を中心に切り替えました。仲君は「平常心でプレーできた。打たせて取るピッチングがはまってうれしい。」と話してくれました。



22日(金)、次の3回戦で和歌山東高校と対戦し、序盤で4点を奪われましたが終盤反撃し、かなりの粘りを見せました。しかし、5対7で惜敗しました。

吹奏楽部、体操部、一般生徒らで組織された総勢約100名の応援団も猛暑の中、懸命の応援を続けました。また、試合後スタンドの清掃を徹底して行うなど、マナーも他校に引けを取りませんでした。グラウンドで強豪校相手に精いっぱい挑戦した選手諸君の戦いぶりもさることながら、最後まで一体感のある応援をし続けた有志の応援団も又、すがすがしいものでありました。

一学期終業式

20日(水)、まず表彰伝達で山崎健太郎君(1年)が和歌山県ワープロ競技大会で佳良賞に入賞し、表彰されました。

引き続き離任式が行われ、家庭科の井内晃江先生からご挨拶をいただきました。着任式も行われ、保健体育科の岡田牧子先生からご挨拶をいただきました。

続いて一学期の終業式が行われました。庄田校長は式辞で、「前向きに取り組もうとする生徒が増えていると実感しています。5月の地域の溝掃除には200名を超える生徒が参加し、以前にもまして皆さんの意欲を感じました。クラブ活動も野球部をはじめ剣道部、女子バレー部、ソフトテニス部等、栄冠にはとどかずとも、最後まで諦めずにプレーしました。2学期以降は、1、2年生が中心になって、先輩達が築いてきた学校の状況をさらに良くし、もっと元気な有田中央に導いてもらいたいと期待します。最後に、皆さん一人一人が、今一度自分の夢や目標について考え、夏休みを有意義に過ごしてほしい。」と語られました。

次に生徒指導部長の竹中先生より「夏休みの過ごし方、身の周りに潜むネット社会、さまざまな事故の危険性」についてプロジェクターを使いながら、ちょっとした油断から自分の人生が変わってしまわないようにと話していただきました。

系列 News

☆農業系列 県農業クラブ大会で最優秀賞に

26日(火)、27日(水)に橋本市で、平成28年度和歌山県学校農業クラブ連盟大会が開催されました。大会はグループによる「プロジェクト発表」と、個人による意見を述べる「意見発表」の2部門に分かれます。

本校からは、「プロジェクト発表I類生産・流通・経営の部」と「プロジェクト発表III類ヒューマンサービスの部」で望月優花さん(3年)らが日頃の取組の成果について発表し、内容はもちろん、発表の態度等も高く評価され、それぞれ最優秀賞を獲得しました。望月さんらは、8月24・25日に兵庫県養父市で行われる近畿大会に出場します。

プロジェクトI類・III類発表 最優秀賞

I類『高校生校内模擬カンパニー「アグリ☆スマイル」～有田ミカンの生産技術再発見～』

2年 石倉啓吾 久徳ひかる 九鬼侑史

III類『高校生校内模擬カンパニー「アグリ☆スマイル」～サンショウの種子利用による土壌改良で安心野菜栽培～』

3年 望月優花 2年 内芝悠平 柴田開人 藤本采希



☆家庭系列「保育所実習」で学ぶ

26日(火)から28日(木)の3日間、家庭系列・保育コースの2年生16名が有田川町内の田殿・御霊・藤並と湯浅町の向島・武者越の5保育所のご協力のもと、実習に臨みました。4年前から行われているもので、実習を通して、保育士という職業に対する理解をより深めることを目的とします。

生徒達は、職員の方々の指導を受けながら、実習に取り組むなかで、仕事の大変さや難しさを実感すると同時に、楽しさや、やりがいも感じとれたようです。また、実習後、職員の方々から評価をいただきましたが、自分の課題について向き合える機会ともなりました。「大変だけれど絶対に保育士になろうと思った」と、



ある生徒の感想です。今後の学習に活かして欲しいものです。

☆福祉系列「介護実習」に取り組む!

福祉系列の生徒は、老人福祉施設の協力をいただき、介護実習に取り組んでいます(2年生:7月21日~9月2日、3年生:6月23日~8月5日)。実習では、職員の方々の指導の下、利用者の方々とのコミュニケーションの取り方や、適切な支援について、さらに、3年生は施設の役割と機能についても実践的に学んでいきます。

実習では、社会人としてのルールの遵守や、自主的、積極的な姿勢が求められるため、思うようにいかず落ち込む場面もあるようです。そんなとき、職員や利用者の方々の支援や励ましが大きな支えになっていると聞きます。

暑い時期、長期にわたる実習ですが、将来の立派な介護福祉士を目指して、頑張ってください!

年間の「マンスリー」はインターネットで <http://www.aridachuo-h.wakayama-c.ed.jp>

